

令和3年度 天童市学習支援室リバテラスちえふる

通信「ちえふる」12月号



師走



～51年ぶりの快挙！

ショパンコンクール2位の反田さんの話から～

先頃、ポーランドの首都ワルシャワで開かれた「ショパンコンクール」で2位に輝いた反田恭平さん。その反田さんがインタビューで応えていた話の中から皆さんの生き方にも参考にできる興味深い話を2つ紹介します。



Q 1日何時間練習しましたか。

コンクールの予選・本選に向け、ラスト1カ月間は、人生で一番練習した。会場から徒歩3分以内のマンションを借りてピアノを置いて多いときは、6時間練習した。

でも、言いたいのは、決して練習だけが大事というわけではない。ぼくは、子どもの頃からサッカー選手になりたかったのですが、常々ボールをずーっと触り続けて練習し続けるかというところでもなくて、フィジカルを鍛えたり、フォーメーションの確認もしたりする。ピアノもそうで、鍵盤を触らないで楽譜を読むという行動だったり、楽譜を遠目に置いて絵画のように見てみるとか図形のように見てみるとかしてみたり・・・。本を読んだり映画を観たりして泣いたり笑ったりという感情も必要だと思う。決してピアノをずっと弾き続けなければいけない、それが練習というわけではないと思う。僕はそういう時間もとても大切にしている。

Q 反田さんに刺激を受けた子どもたちにどんな言葉を伝えたいか。

正直「夢を追いかける」という言葉は実感がなかったし、好きでも嫌いでもなかったけど、声を大にしては恥ずかしくて言えなかったりする夢も願い続ければ叶ったので、目標は高く、自分のもっているスキルより少し高めに設定することが大事なかな。ピアノ、例えば作品にしても、もう少しこの曲を弾きたいけどちょっとスキルが足りない、でも、そこを目指す過程が大事。何より伝えたいのは小さい頃からやってたこともぜひ続けてほしい。僕は、小さい頃から趣味でピアノをやってきて12歳から真剣にやり始めたわけで、とても遅い人間。サッカープレーヤーになりたかったし、オリンピック世代でワールドカップをめざしていた。ただ、自分で見極めることも時には必要。自分がなれるようであれば全力で向かっていく必要がある。

「自分を信じて強くあれ」と思います。

自分の実力より少しだけ高い目標を設定し実行する、できるようになったら、また、少しだけ高い目標を設定して突破する、小さな成功体験の積み重ねにより自分の心に小さな自信が蓄えられます。そして、その小さな自信はやがて大きな自信へと創り上げられ心は逞しく強くなっていきます。反田氏の「自分を信じて強くあれ」の言葉は、人生訓として心に響いてきます。

連絡

- 12月21日（火）～1月7日（金）＜但し12月20日（月）と12月29日～1月3日迄は休館＞の期間は、平日も開室時刻が9時になります。来室時には、引き続き新型コロナウイルス感染予防対策にご協力をお願いします。
- お忙しい中、多くの皆様からアンケート調査にご協力をいただき、ありがとうございました。集計結果については、今後のお便り等で報告させていただきます。